

北町小の 特別支援教育

困り感を抱える子どもたちのために

練馬区立北町小学校 校長 瀧嶋 克己
特別支援教育コーディネーター
羽生・各務・野村（桃）・高木

北町小学校の特別支援教育の推進に向けて

すべての子どもたちが、自分の将来像をもって生活し、希望をもって自分らしく活躍できるようにしていくためには、子どもたちの「安心感の保証」や「困り感の軽減」が必要とされてきます。まずは、子どもたちにとって安心できる環境作りが大切となり、安心できる教室で学習を進める上で、「困った」が出てきたときには、その困り感の軽減に向けた工夫をしていくことが大切になります。このときに、特別支援教育の様々な考え方が生かされていきます。

そして、子ども自身やご家庭がその子と向き合い、できていることもできていないことも含めて自分を好きになり、自分なりのやり方を見つけていくサポートをしていくことが本校の特別支援の役割と考えています。

子どもたちは、通常の学級、特別支援教室、特別支援学級どの場においても、「学び方や学びのスタイル」があります。子どもたちの様々な様子から、様々な学び方、学びの場を選択していることを子どもたちが前向きに捉えられるように、周りの人が正しく理解し、尊重し合えるような学校を保護者の方々と共に築いていくことも子どもたちの「安心感の保証」に繋がると考えています。

気付く

- 担任だけでなく、チームとして子どもたちを見守ります。
- 読み書きアセスメント（2年生）を実施し、読み書きの困難さを早期に見つけます。

ともに考える

- 学級全体のユニバーサルデザインについて※学級におけるユニバーサルデザインは特別な支援が必要な子どもを含めて、学級におけるすべての子どもが楽しく学び合い「わかる・できる」ことを目指します。
- 個別の特別な配慮（合理的配慮）について

ともに考え、支援をつなぐツールとして

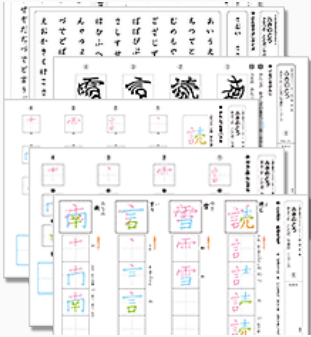
「学校生活支援シート」（個別的教育支援計画）が作成できます。

学校生活支援シートは、本人の思いや保護者の思い、必要な指導や支援を次の担任、学校へとつないでいくものです。保護者と学校（担任）で作成していきます。

※作成を希望される方は担任までお知らせください。

支援する

以下は支援の一例です。

デジ教科書	読み書き支援ツール	教室での支援
・タブレットで利用できる音声教科書 文字と音と画像を同時に再生でき、読み上げスピードを変えることができます。また、背景の色や文字の色、大きさも変えられます。	・鉛筆補助具 ・リーディングトラッカー ・認知特性に応じた漢字練習プリント - など 	・座席の配慮 ・テストの配慮（漢字のルビふり、音の遮断、読み上げ） ・タブレットの使用（板書、作文等） ・ヘルプカードの使用 - など 

○支援の場として

相談室	特別支援教室 （けやきルーム）	ことばの教室 （北西小学校内）
子どもたちが楽しく学校に通えるために、子どもの悩みにについて一緒に考えたり、保護者の方の悩みの相談にものります。相談に乗る人 【子どものみ】 ・こころのふれあい相談員（月・火・水） 【子ども・保護者】 スクールカウンセラー（木曜日） ※予約は学校へお電話ください	・児童の特性に応じた特別な指導を受けることができます。 ・児童にとって困難なこと、苦手なことの例として・・・「コミュニケーションがうまくとれない」「相手の立場になって考えることが難しい。」「集中し続けることが難しいなど。」 ・指導対象児童については、保護者との合意等に基づいて練馬区教育委員会が決定します。	・ことばの心配なついて相談をしたり、指導をしたりする教室です。 ・たとえば、「発音が気になる」「ことばを繰り返したり、引き伸ばしたりする」「ことばの発達が気になる」など ※ことばの相談をご希望の方は担任までお知らせください。

※その他に、見えにくさのからくる困難を支援するための弱視通級指導教室（中村西小学校内）もあります。

☆ご相談、ご質問はお気軽に特別支援教育コーディネーター（羽生、各務、野村、高木）まで